

1 学校教育目標

『自ら学び 郷土を愛する 心豊かな人間の育成』

- 具体目標
- 深く考え 進んで学ぶ子ども
 - 明るく元気で 思いやりのある子ども
 - 健康で 最後までやりぬく子ども



◎実践目標 『目指す子ども像』

※目標を定め、計画的に取り組み、評価を行う。評価結果を、改善のため活用する。

※保護者と連携し、協力して取り組む。

- (1) 勉強に意欲的に取り組み、基礎・基本を身につけた子ども

校内研究の充実、よい授業の提供、日常実践の継続、保護者の理解

- (2) 家庭でも勉強する子ども

適切な家庭学習が習慣化するように家庭と連携

- (3) 忘れ物のない子ども

家庭との連携

- (4) 仕事をすすんでする子ども

家庭・地域での勤労と学校での活動をとおして

- (5) あいさつする子ども

「おはようございます」「ありがとうございます」「ごめんなさい」

「しつれいします」などの言葉を保護者と連携して身につけさせる

- (6) 自分を表現する子ども

話したり書いたりして人に伝えたり、音読・合唱などで指導したりする

- (7) 外で元気よく遊ぶ子ども

集団で行動することにより、社会性を身につける。健康な体をつくる。



2 学校経営の方針

学校教育目標の具現化を目指して、目標・方針への共通理解を深め、全職員の創意工夫を活かし、協力して活力と特色のある学校経営を推進する。

- (1) 「学び」が楽しい学校づくりをとおして、「生きる力」を育む。
- (2) すべての児童がかけがえのない存在として大切にされ、その能力・適正が最大限伸ばされるように努める。小規模校の利点を生かし「個に応じた教育」を充実させる。
- (3) 地域に根ざした教育活動を通し、学校・家庭・地域社会の連携を図り、郷土を愛する心を育てる。
- (4) 平成 23 年度末統廃合を控えているので、統合先の須玉小学校と整合性のある教育課程を編成し実施していくことと、児童たちは日常的に交流をはかりながら、無理のない統合ができるように取り組む。

3 学校経営の努力点

- (1) へき地・小規模・複式学級を有する学校の特性を生かした教育実践に努める。

- (2) 子どもの学習意欲を高め、課題を自ら解決していく力を育てる指導方法を考え、実践する。
- (3) 「学ぶ楽しさ」「考える楽しさ」「分かる楽しさ」など、成就感のある授業を行う。
- (4) 学校統合に備えて行う須玉小との交流活動が、子どもの視点で取り組めるようにする。

◎指導の重点：教育の専門職として「良い授業」を創造する。

- (1) 年間を通じた「教材研究」の充実に努める。
- (2) 自らの研究を深めるとともに、教職員集団から相互に学びあう姿勢をもつ。
- (3) 職員の個性が授業や行事などに出せるように、協力体制を組む。

①各教科

○学力の基礎・基本となる知識・技能だけでなく、思考力、判断力、表現力、想像力なども育てる。

○学び方を学ばせるとともに、主体的な学習をすすめ、自ら学ぶ児童を育てる。

②道徳

○自他の人格の尊重を基盤として、自分の生き方を深く見つめ直させ、道徳的実践力を育てる。

○集団の一員としての自覚を高め、相手の立場や考え方を思いやる心を育てる。

③特別活動

○異年齢集団による全校活動を取り入れ、社会性を身につけるとともに望ましい人間関係を学ばせる。

④生徒指導

○児童相互、児童と教職員が心の交流を図り、望ましい生活習慣を身につけた児童を育てる。

○児童の個性を把握し、きめ細かい指導を行う。

○学校と家庭とが密接に情報交換を行い、一貫した適切な指導を行う。

⑤基本的生活習慣の定着

○食教育の充実、勤労の重視、自然体験の実施等により、家庭との連携のなかで一層の定着を図る。

4 目指す教師像

- (1) 人間としての魅力を身につけ、専門的な知識や技能を備え、保護者を理解しながら子どもを愛して、日々最善を尽くす教師。
- (2) 自ら課題を見つけ、考え、判断し、実践する教師。
- (3) 子どもの成長を保護者とともに喜び合える教師。
- (4) 他から貪欲に学ぶとともに、協力し合い、互いに高めあう教師。
- (5) 専門家としての自負と誇りと責任をもって、指導に臨む教師。

